



2016年11月4日

## モントリオール議定書 HFCに係る改正（キガリ改正）に対する ダイキンのポジション

2016年10月15日、ルワンダ・キガリにおける第28回モントリオール議定書締結国会議において、温暖化抑制のための歴史的な合意がなされました。この合意では、モントリオール議定書において、HFCをCO<sub>2</sub>換算でフェーズダウンしていくというものです。ダイキンのキガリ改正に対するポジション、及び次世代冷媒についての方針を以下に示します。

※冷媒の環境問題に対するダイキンの方針は、

[http://www.daikin.co.jp/csr/information/influence/reibai\\_hoshin.pdf](http://www.daikin.co.jp/csr/information/influence/reibai_hoshin.pdf)

にて、詳細を確認いただけます。

1. ダイキンは、モントリオール議定書における、HFC フェーズダウンのためのキガリ改正を歓迎します。
2. ダイキンのポリシーは「冷媒の多様性」です。すべての機器に適用できる理想冷媒は残念ながら存在しません。冷媒の選択は、オゾン層破壊係数や、温暖化係数の数値だけでなく、機器ごとに安全性、エネルギー効率、経済性、環境性、回収と再生可能性、など多面的に地球温暖化への影響を評価していかなければなりません。
3. ダイキンは、これらの評価を踏まえ、ミニスプリットやマルチスプリットなどの空調機には、R32 が適していると判断しました。R32 のこれら空調機の適用は、HFC フェーズダウンスケジュールの達成、また現在進行中の HCFC フェーズアウトスケジュールの達成に大きく貢献します。その他の機器に最適な冷媒は、鋭意研究を進めています。
4. 将来の温暖化影響を抑制するには、「Sooner, the Better」(可能な施策はできる限り早く実行する)というアプローチが必要です。ダイキンは、われわれが考える最適な冷媒を機器毎に特定でき次第、どんどん商品化を進め、普及を促すことで、地球温暖化抑制に貢献してまいります。
5. ダイキンはまた、冷媒メーカーとして、将来において、地球温暖化にさらにもう一歩貢献すべく、機器毎に適材適所の最適冷媒の探索を継続してまいります。

【お問合せ先】 ダイキン工業株式会社 CSR・地球環境センター  
TEL: 06-6374-9325  
E-mail: [refrigerant.project@daikin.co.jp](mailto:refrigerant.project@daikin.co.jp)